

小麦粉との上手なおつきあい

コナちゃんの4つのお願い



(財)製粉振興会

1 小麦粉は、用途にあったものを選びましょう！



●小麦粉は、用途にあわせて、強力粉(パン、ギョウザ、中華めん、ピザなど)、中力粉(うどん、料理など)、薄力粉(ケーキ、菓子、天ぷら、料理など)の種類をたしかめて買いましょう。また、必要なだけ買うのが、上手な買い方です。そして、開封したら、できるだけ早く使いきつてしまいましょう。こうすると、虫やカビの害をまぬがれ、いつもおいしいお料理が楽しめます。

2 小麦粉は、しっかり封をして正しく保存



●ニオイが大きい！

小麦粉は、ほかのニオイ(洗剤や香水など)に敏感で、やさしい性質を持っています。に保存するのはさけましょう。このお料理もだいなしになります。

●湿気は、ニガ手

小麦粉は、湿気に敏感です。保存する場所は、虫やカビの原因になる湿気を避けてください。また、虫やカビの原因になります。

●使い残しは、しっかり封

開封した小麦粉は、虫や異物が混入する可能性があります。しっかりとしめましょう。缶詰や袋詰めができるのも、上手な保存方法です。

●虫の侵入にご注意

虫は、私たちの生活環境のいたるところにいる小麦粉へ侵入しがちです。そして保存しません。

をして、
しましょう！



、灯油、化粧品など)がつき
ニオイの強いものといつしょ
風味がそこなわれ、せつか
ます。

存は、涼しい乾燥した場所に。
だけでなく、品質そのものを

を！

入らないように、開封部分を
ビンなどの密封容器に移し
す。

いろなところにいますので、
ためにも、きちんと密封を

3

小麦粉は、よくふるって使い、
使った粉をもとにもどさない
ようにしましょう！



●よくふるってから

小麦粉は、よくふるってから使いましょう。ふるつた小麦粉でつくったお料理やお菓子は、上手においしくできあがります。ベーキングパウダーを使うときは、粉といつしょにふるうと均一にまざります。

●使った粉は、もとの袋にもどさない

小麦粉は、その料理に必要な量だけ袋から取り出すようにしましょう。天ぷらやフライなどで肉や魚にふれた小麦粉は、その切れはしが入ったり、水気を吸ってカビやカタまりの原因になることがあります。一度使った小麦粉は、もとにもどさないようにしましょう。

4

小麦粉の袋の注意書きを、よく読みましょう！

- 小麦粉の袋には、注意書きが書いてあります。小麦粉を使うときには、必ずこの注意書きを読んでから、料理をはじめて下さい。



ご注意

ドーナツ、アメリカンドッグ、スペイン風揚げ菓子などの生地(きじ)を油で揚げるときは、下記のご注意を必ず守ってください。そうしないと、生地中の水分や空気が急激に加熱膨脹して油が飛び散り、やけどをする危険があります。

- ドーナツ、アメリカンドッグなど、小麦粉100 gに対し水80cc以下で練った生地を揚げる場合は、砂糖10 g以上とベーキングパウダー3 g以上の両方を必ず入れてください。
- スペイン風揚げ菓子など、小麦粉を熱湯で練った生地を揚げる場合は、必ず星型の口金で絞り出して表面積を大きくしたり生地の表面をあらくしてください。